

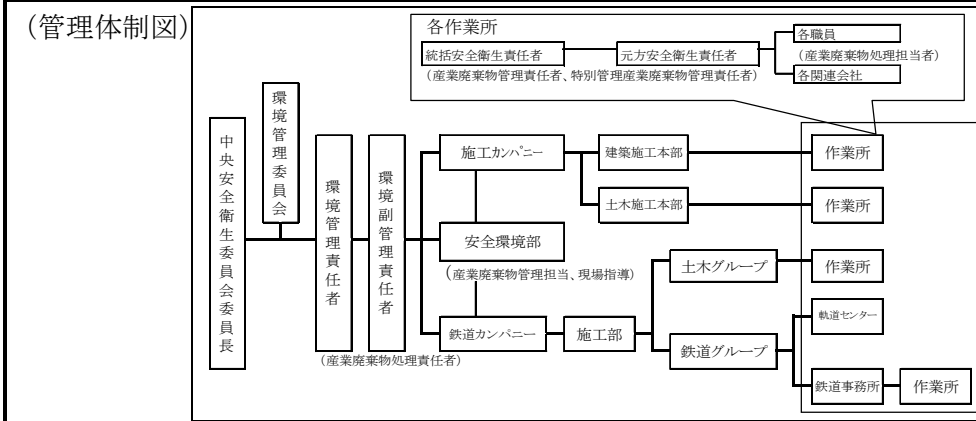
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		24年 6月25日
愛知県知事 殿		
提出者		
住所 名古屋市東区葵3丁目19番7号		
氏名 矢作建設工業株式会社		
代表取締役社長 藤本 和久		
電話番号 052-935-2376		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	矢作建設工業株式会社	
事業場の所在地	名古屋市東区葵三丁目19番7号	
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	06：総合工事業	
② 事業の規模	元請完成工事高： 1,154,862万円	
③ 従業員数	81名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>建設工事 既設構築物解体：がれき類→再生処理業者に委託して再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 混合物→中間処理業者に委託して選別・減量化の後、埋立処分 基礎工事：汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、埋立処分 建築工事：がれき類→再生処理業者に委託して再資源化 廃プラスチック→中間処理業者に委託して燃料として再資源化 もしくは、焼却施設のある業者で焼却処分 混合物→中間処理業者に委託して選別・減量化の後、埋立処分</p>	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 金属くず、木くず、紙くず、石膏ボード等、再生可能な品目について分別パレットを設置して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 分別仕分けを徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) _____			
②計画	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) _____			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り再生利用業者に処理を委託し、それ以外は再資源化施設を有する産業廃棄物処理業者に委託して最終処分量の低減を図る。 ・廃プラスチック類は燃料として再利用できる施設又は、焼却処理施設を有する中間処理業者に委託することで減量化している。 		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組) ・コンクリートがら、アスファルトがらについては、グループ会社で破碎を行ない再生材として再利用する。 ・汚泥については、委託業者による更なる減量化を依頼すると共に、脱水等の場所が確保出来る作業所では自社で脱水することを推進して行きたい。 ・混合廃棄物の更なる分別を進めて再利用、減量化を図る。	
※事務処理欄		

23年度の産業廃棄物発生量(実績)及び24年度の目標

(単位:t/年)

産業廃棄物の種類 項目		汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず、 コンクリートく ず、及び陶 磁器くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	石綿含有ガ ラス・陶磁器	廃油			建設混合廃 棄物	計
① 二十三年 度の実績	産業廃棄物の排出量	341	416	162	520	17,249	133	1,801	105	30	0.7			112	20,869
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	委託する産業廃棄物の量	341	416	162	520	17,249	133	1,801	105	30	0.7			112	20,869
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	再生利用業者への処理委託量	341	416	162	520	17,249	133	1,801	105	0	0.7			112	20,839
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
② 二十四 年度の 目標	産業廃棄物の排出量	300	350	150	450	15,000	100	1,500	100	50	0.5			100	18,101
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	委託する産業廃棄物の量	300	350	150	450	15,000	100	1,500	100	50	0.5			100	18,101
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	再生利用業者への処理委託量	300	350	150	150	15,000	100	1,500	100	0	0.5			100	17,751
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			0.0	0.0

※発生量は前年度の実績をもとに推計しました

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。